

登録コード:MH182100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	基礎看護学実習（医療活動）【22M以降】 Guide to Clinical Practicum in Fundamental Nursing（Medical Activities）			
担当教員	浅野 美礼 他 小林 千世・上原 文恵・山口 大輔			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/1 年 前期(集中) 木曜・不定期			
単位数、講義室	1 単位	保健学科 3 1 1 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	授業の達成目標		
	MH25カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	看護専門職が患者の健康を支援するために担っている役割・機能・活動の実際を理解する。		
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	医療専門職が患者の健康を支援するために担っている役割・機能・活動の実際を理解する。		
	問題解決力 保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる。	医療専門職が行う情報収集・評価・分析・判断の実際を学び、患者の健康を支援するために多職種間で情報共有する必要性を理解する。		
	対人関係形成・協働力 保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションをとりながら適切な関係を形成し、看護専門職者として協働的に役割を担うことができる。	患者の健康を支援するために行っている看護専門職と他職種の多職種協働の実際を理解する。		
	プロフェッショナリズム 看護専門職者として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる。	看護専門職として、患者の健康を支援するための倫理的行動を理解することができる。		
授業で学べる「テーマ」	その他			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	特定機能病院である信州大学医学部附属病院の機能・役割、看護部門の機能・役割について、医師・看護師から説明があります。さらに、病院内を見学し、外来診療を受ける患者が利用する院内施設を見学します。 医療専門職（看護師・多職種）の役割・機能・活動の実際を学ぶために、理学療法士・作業療法士の活動について説明を受け、信州大学医学部附属病院臨床部門の見学実習を行います。 本授業は、1年次前期前半に学んだ「看護学概論」「コミュニケーション方法論」の知識を前提とします。そして、本授業の内容は、1年次後期に学ぶ「看護方法論」「コミュニケーション方法論」「基礎看護学実習」2年次に学ぶ「看護方法論」「基礎看護学実習」における重要な基礎知識となります。 本授業は、教員の医療機関における看護師・医師・理学療法士・作業療法士としての実務経験を活かして実習を行います。			
授業計画	【実習 1 日目】（2026年/5月21日・6月25日） 実習オリエンテーション 信州大学附属病院の医療活動、医師の役割・機能・診療、診療のプロセス 信州大学附属病院看護部オリエンテーション 院内ツアー 学内カンファレンス 【実習 2 日目】（2026年/5月28日・7月2日） はじめての臨床実習 衛生学的手洗い 看護部門・多職種部門の見学 学内カンファレンス 【実習 3 ・ 4 日目】（2026年/6月4日・7月9日）（2026年/6月11日・7月16日） 理学療法士・作業療法士の活動 自己学習報告会 看護部門・多職種部門の見学 学内カンファレンス 【実習 5 日目】（2026年/6月18日・7月23日） まとめ報告会 授業アンケート			
授業の進め方	1．実習オリエンテーション 基礎看護学実習 の目的・目標および概要、実習ガイドライン、臨地実習における学生の学習態度・言動、体調不良時の連絡方法について説明を受けます。 2．信州大学附属病院の医療活動、医師の役割・機能・診療、診療のプロセス 看護学専攻医系教員による、信州大学医学部附属病院の組織・診療科、特定機能病院の			

授業の進め方	機能と役割、医療を受ける患者の概要、患者が医療サービスを受けるプロセス、医師の役割・機能、診療のプロセス（問診、臨床判断、検査、治療、評価）について説明を受けます。 3．信州大学附属病院看護部オリエンテーション 信州大学医学部附属病院看護部の指導者による、信州大学医学部附属病院の看護部組織と役割機能について説明を受けます。 4．院内ツアー 外来通院患者が医療を受ける際に利用する院内施設を見学します。 5．はじめての臨床実習 臨床実習を行うにあたっての看護学生としての行動（身だしなみ・言葉遣い・情報保護）について説明を受けます。 6．衛生的手洗い 衛生的手洗いの必要性・方法について説明を受け、実践します。 7．看護部門・多職種部門の見学 看護部または多職種部門スタッフの業務を見学し、看護師の役割・機能、ケアの実際、多職種専門職の役割・機能、業務の実際を学びます。 8．理学療法士・作業療法士の活動 理学療法学専攻教員、作業療法学専攻教員より、理学療法士・作業療法士の活動の実際について説明を受けます。 9．自己学習報告会 看護部門・多職種部門の見学実習で見学した職種について自己学習を行い、グループメンバーに報告し、討議します。 10．学内カンファレンス 実習での学びをグループメンバーで共有します。 11．まとめ報告会 グループごと「特定機能病院である信州大学医学部附属病院の医療活動」「見学した職種の役割・活動・多職種との協働」「実習から学んだ患者に提供される医療サービス」「実習を通して学んだこと」をまとめ、発表します。
テキスト，教材，参考書	看護学概論、コミュニケーション論で用いた教科書及び参考書、授業資料
成績評価の方法	実習要項とともに配布する実習評価表を用いて、実習記録用紙・実習後課題レポート・自己学習報告会成果物・実習態度を、各項目4段階で評価し、総合的に判断します。評価の方法は以下のものです。 ・実習記録用紙、実習後課題レポート、自己学習報告会成果物から、実習目標の到達度を評価します。 ・実習後課題レポートの記述内容から、医療専門職の役割・機能・活動の実際からの学び、看護への理解の深まりを評価します。 ・カンファレンスへの参加態度、グループメンバーとの関わり、臨床指導者との関わり、個人情報の取り扱いにより看護学生としての実習態度を評価します。
成績評価の基準	実習の内容：実習評価表を用いて目標への到達度を評価します。 90%以上の到達度を「秀」 80% " 「優」 70% " 「良」 60% " 「可」 とし、60%に到達しない場合は、追加課題への取り組みや成果の内容によって再評価します。 実習後課題レポート： 課題に対応した適切な内容である。 自分の考えを説明できている。 自分の考えの根拠を説明できている。 指定された書式であり、記載項目に不足がない。 既存の内容に依存していない。 期限内に提出している。 ～ を満たしており、自分の考えを説得力を持って明確に説明されているレベルであれば「秀」。 ～ を満たしている場合は「優」。 ～ にやや課題が残る場合は「良」。 ～ に課題が残る場合は「可」。 総合して、秀：100～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点と評価する。
事前事後学習の内容	事前学習： 実習に係る医療機関・医療専門職の役割・機能についての学習をします。 事後学習：

事前事後学習の内容	自己学習報告会では、見学実習で見学した職種について事後学習を行い、各自、成果物を作成し、報告します。まとめ報告会では、実習の学びをグループごとにまとめ、報告します。報告までの時間を使って、実習で経験した医療機関・医療専門職に関する学びを深めてください。他学生の報告からの学びについては、実習記録用紙、実習後課題レポートに記述してください。 本科目の単位の習得には45時間の学習が必要です。
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	・看護部門、多職種部門の見学については、信州大学医学部附属病院の指導者の指示に従い、見学することになります。各学生で集合場所、見学時間等が異なります。 ・教員は、信州大学医学部附属病院の指導者と協力体制を取りながら、指導にあたります。実習について、学生からの相談を受けます。 ・担当教員のオフィスアワー：随時対応しますが、メール等で事前に連絡してください。 浅野美礼メールアドレス：millet@shinshu-u.ac.jp ・小林千世准教授、山口大輔助教・上原文恵助教のほか、実習担当教員も対応します。 小林千世メールアドレス：ckobaya@shinshu-u.ac.jp 山口大輔メールアドレス：dyamaguchi@shinshu-u.ac.jp 上原文恵メールアドレス：fumieue@shinshu-u.ac.jp